

方向性を踏まえたまちづくりの具体化方策の検討

検討のステップ

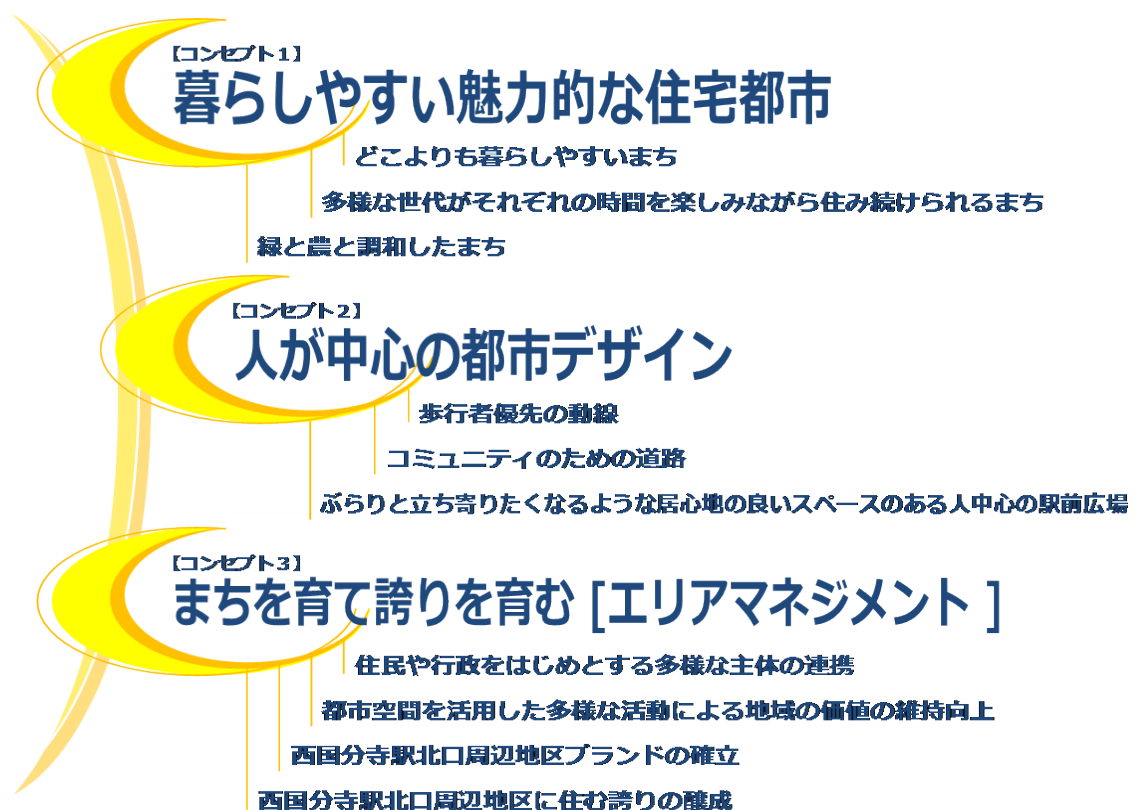
中間報告書では、まちづくりの方向性として3つのコンセプトを定めました。

今後、方向性を踏まえたまちづくりの具体化方策を検討していくにあたり、まず、『①これらのコンセプトが実現された将来のまちとは具体的にどんなまちなのか』を掘り下げ、次に『②その実現のためにはどんな取組をしたらよいか』を考えていきます。

将来のまちの構成要素のイメージがより具体的なものとなることで、その実現化のために必要な取組が見えてきます。

ここでは、これまでの議論を踏まえて①及び②の例（将来のまちで実現していることのイメージ例、及び実現のための取組例）を示します。本日の協議会では、これらをたたき台として「私の考えるどこよりも暮らしやすいまちとは」「あの街が魅力的な住宅都市のイメージに近い」「このイメージに示される内容は、重要度でいうと5段階評価の4だ」といった意見交換を行っていきたいと思います。

まちづくりの方向性(西国分寺駅北口周辺地区ブランドコンセプト)



検討のステップ

STEP1

コンセプトが実現された将来のまちとは、具体的にどんなまちなのか？



STEP2

その実現のためにはどんな取組をしたらよいか？

STEP1

コンセプトが実現された将来のまちとは、具体的にどんなまちなのか？

【コンセプト1】 暮らしやすい魅力的な住宅都市

1) どこよりも暮らしやすいまち

「どこよりも暮らしやすいまち」ではどんなことが実現していると思いますか？

例

- ① 庭の木々や生垣などの緑と調和した美しい戸建住宅地が広がっている。落ち着いた色彩・デザイン等の建物による、魅力的な住宅地景観が形成されている。

【西恋ヶ窪二・三丁目、日吉町エリア】



美しい戸建住宅地の例(日野市)



美しい戸建住宅地の例(国立市)

- ② 中密度の土地利用も可能とすることで、敷地内にオープンスペースが確保され、多様な植栽が配置されたアメニティ空間が創出されている。

【西恋ヶ窪二丁目北側エリア】



緑化に配慮した中低層の集合住宅の例(調布市)

- ③ 自宅から歩いていける距離に、日用品の買い物ができる店舗や飲食店があり、買い物や外食を楽しんでいる。

【北口駅前エリア、都市計画道路沿道エリア】

- ④ 駅前付近には、個性的な店舗が建っている。人中心の広場と相まって、居心地の良い空間を形成し、他にない個性的な駅前空間となっている。

【北口駅前エリア】

- ⑤ 子どもと安心して散歩ができ、保育園や診療所など、子育て支援施設が充実しており、共働き世帯も安心して子育てができる。

【全域】



子育て支援施設の例（流山市）

- ⑥ サイクルシェア、カーシェアなどの取組により、過度に自動車に依存しない、便利で環境負荷の低い移動手段がある。

【全域】



EVカーシェアリングの例（柏市）

- ⑦ 消火栓などの消防水利が十分に設置されるとともに、スタンドパイプ消火器具等により、共助の力で初期消火に対応できる。

【全域】



スタンドパイプ式消火器具

- ⑧ 消防車や救急車が支障なく進入できる。

【全域】

- ⑨ 夜間でも安心して歩けるような、防犯的にも優れた環境が整っている。

【全域】

- ⑩ 社会構造やニーズの変化に対応しながら、都市機能の整備・更新が行われることで、この地区にずっと住み続けることができる。

【全域】

2) 多様な世代がそれぞれの時間を楽しみながら住み続けられるまち

「多様な世代がそれぞれの時間を楽しみながら住み続けられるまち」ではどんなことが実現していると思いますか？

例

- ① 子育て支援や医療福祉など、それぞれのライフステージに必要な機能を持つ施設が備わっている。 【全域】

- ② 戸建住宅や集合住宅、賃貸住宅、シェアハウスなど、ライフスタイルに合わせて多様な住み方ができる。菜園やアトリエ、ジョギングなどの趣味や余暇を楽しむ、ゆとりある生活をしている。

【全域】



多世代交流型賃貸住宅の例（たまむすびテラス：日野市）

- ③ 安全な歩行環境が整い、高齢者が散歩を楽しみ、子どもたちが屋外で遊んでいる。

【全域】

- ④ 趣味などの活動を通じて、多様な世代が交流し、良好なコミュニティが形成されている。

【全域】



共同花壇の管理を通じた交流の例（高島平団地）

- ⑤ 駅前の歩行者広場で、地域のお祭りが催され、交流が広がっている。

【北口駅前エリア】



駅前の歩行者広場でのイベントの例（日向市）

- ⑥ 以前は空き地だった場所が、子どもの遊び場やイベント等が行われる広場になり、地域の交流の場になっている。

【全域】



空き地を広場としてリニューアルした例（松山市）

3) 緑と農と調和したまち

「緑と農と調和したまち」ではどんなことが実現していると思いますか？

例

- ① 農地がまちのなかの緑として街並みに彩りを与えている。

【西恋ヶ窪二・三丁目、日吉町エリア、西恋ヶ窪二丁目北側エリア】

- ② 「こくベジプロジェクト」等の地産地消の取組が広がり、顔の見える生産者による「採れたて野菜」が食べられる暮らしに誇りを感じている。

【全域】



「こくベジプロジェクト」ポスター

- ③ 駅前広場などで地場産野菜の市（マルシェ）が開催され、にぎわっている。農地に設置された直売所とともに、住民と生産者との交流の場にもなっている。

【北口駅前エリア、西恋ヶ窪二丁目北側エリア、西恋ヶ窪二・三丁目、日吉町エリア】



地場産野菜の市の例（くにたちマルシェ：国立市）

- ④ シェア畑や芋ほり体験、花摘み、子どもの泥遊び等の体験プログラム、農家レストランなどの新たな農地経営の手法が育って地域に根付き、農地が地域の資産として維持・活用されている。

【西恋ヶ窪二丁目北側エリア、西恋ヶ窪二・三丁目、日吉町エリア】



子どもたちの農作業体験の例（くにたちはたけんぼ：国立市）

【コンセプト2】 人が中心の都市デザイン

1) 歩行者優先の動線

「歩行者優先の動線」ではどんなことが実現していると思いますか？

例

- ① 緑豊かな公園や緑陰の歩行者道路を歩いていくと、駅にたどり着く。

【全域】



駅前から街の中心につながる広場の例（ウエルウィン：イギリス）

- ② 歩行者と自動車の動線は完全に分離されており、歩行者が最短距離で目的地に着ける。

【全域】



歩行者と自動車の動線分離の例（烏山川緑道：世田谷区）

- ③ すべてがユニバーサルデザインになっており、高齢者や車いすも快適に通行できる。

【全域】



ユニバーサルデザインの歩行者空間の例（千代田区）

- ④ 地場野菜の販売所や公園などをつなぐ散歩道があり、犬の散歩やジョギングが楽しめる。

【全域】

- ⑤ 歩道のところどころにポケットパークがあり、散歩の途中で一休みできる。

【全域】



ポケットパークの例（足立区）

2) コミュニティのための道路

「コミュニティのための道路」ではどんなことが実現していると思いますか？

例

- ① 市街地の外周道路に集約された駐車場があり，地区内には一切車が入ってこない。

【全域】



外周道路に集約された駐車場がある例(ウイーン)

- ② 容易に通り返けできない工夫がされており，地区内の生活道路に通過車両が入ってこない。

【北口駅前エリア以外】



進入抑制対策の例(船橋市)

- ③ 地区内の生活交通も速度を抑える仕組みになっており，歩車共存の生活道路になっている。

【北口駅前エリア以外】



速度抑制対策の例(静岡市)

- ④ 路地が子どもの遊び場や地域のイベント・お祭りの場にもなっている。

【北口駅前エリア以外】



NPO 法人による子どもの道遊びイベントの例(文京区)

3) ぶらりと立ち寄りたくなるような居心地の良いスペースのある人中心の駅前広場

「ぶらりと立ち寄りたくなるような居心地の良いスペースのある人中心の駅前広場」ではどんなことが実現していると思いますか？

例

- ① 駅前に見晴らしの良い、皆が集まれる広場や公園がある。

【北口駅前エリア】



JR 日向駅前(日向市)



JR 武蔵境駅前(武蔵野市)



JR 武蔵境駅前(武蔵野市)

- ② その広場では、子どもが遊んだり、地域のお祭りや地場産野菜の市（マルシェ）、オープンカフェなどが行われている。

【北口駅前エリア】



越谷レイクタウン駅前広場(越谷市)

- ③ その広場の周りには、居心地の良さそうな個性的な店舗が建っており、駅からの帰り道に、つい立ち寄りたくなってしまふ。

【北口駅前エリア】



広場の周辺に個性的な店舗を誘致した例(niwa+：草津市)

- ④ その広場は、駅を出て最も近いところにあり、ユニバーサルデザインで誰でも入っていくことができる。広場を通り抜けるとロータリー（交通広場）があり、駅からロータリーまでは段差がなく、円滑に移動できる。

【北口駅前エリア】



ユニバーサルデザインによる整備例(奈良市菖蒲池駅)

【コンセプト3】 まちを育て誇りを育む [エリアマネジメント]

1) エリアマネジメントとは？

エリアマネジメントとは、特定のエリアを対象に、良好な環境やエリアの価値を維持・向上させようという取組で、地域の住民・事業主・地権者等が主体的に広報・交流・防災防犯・環境維持活動等を自立的・継続的に実施するものです。

ここでは、エリアマネジメントの実現に向けた検討をするために、まず、エリアマネジメントのポイントと具体的な活動内容例について、「地域創生まちづくり—エリアマネジメント—」（平成29年：内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局 内閣府地方創生推進事務局）をもとにご紹介します。

エリアマネジメントとは

都市空間を活用した多様な活動による地域の価値の維持向上
住民や行政をはじめとする多様な主体の連携



エリアマネジメントの活動を通じて…

西国分寺駅北口周辺地区ブランドの確立
西国分寺駅北口周辺地区に住む誇りの醸成

2) エリアマネジメントのポイント

エリアマネジメントは、幅広い多様な主体による取組であり、その活動内容はエリアの特性に応じて様々ですが、代表的なものとして以下の4つの特徴があるとされています。

POINT 1 「つくること」だけでなく、「育てること」

我が国の人口は減少局面に入っており、これからは、「開発＝つくること」だけでなく、その後の維持管理・運営（マネジメント）の方法、つまり「育てること」までを考えた開発を行うことが重要です。そして、このことは、「開発＝つくる」段階とは異なる「維持管理・運営＝育てる」段階における民間と行政との間の公共空間の利活用や公共貢献を含めた連携関係の構築にもつながります。

POINT 2 住民・事業主・地権者等が主体的に進めること

これからのまちづくりにおいては、従来の平均的・画一的と評されがちであったまちづくりではなく、「個性豊かな地域」や「身近な地域」を実現することが重要です。地域の問題が多様化し、その解決方法も様々であるため、住民・事業主・地権者等が主体的に進める必要があります。

POINT 3 多くの住民・事業主・地権者等が関わり合いながら進めること

エリアマネジメントは、地域の限られた人々による取組ではなく、多くの住民・事業主・地権者等が関わり合いながら、地域に関する様々な活動を総合的に進めるものです。そのため、「地域の総意を得る」、「活動に対して費用負担をする」、「活動メンバーとして主体的に参画する」等、様々な関わり方が求められています。さらに、必要に応じて行政や専門家・他のエリアマネジメント団体と関わり合いながら進めている場合も多く見られます。

POINT 4 一定のエリアを対象としていること

エリアマネジメントは、多くの住民・事業主・地権者等が関わり合いながら進めるものですので、程度の差はあるものの、敷地単位でなく一定のエリアを対象とすることが基本と考えられています。このように一定のエリアを設定することで、活動の目標や内容を共有し、活動の成果や地域の変化等を評価し、PDCA サイクルを回すことにより、エリアマネジメント活動を持続可能なものとするにつながります。

3) エリアマネジメントの活動内容（例）

1 まちの賑わいづくり （イベント・アクティビティ）

季節に応じたイベントの開催等により、多くのひとを呼び込み、まちの賑わいを創出するための取組です。企業、学校、地域団体等、様々な組織の連携が進められています。



▲福岡ストリートパーティ
[福岡県福岡市]※1
(車道を封鎖し出店すること等によりわくわく感を演出)



▲サッポロフラワーカーペット
[北海道札幌市]※2
(北3条広場の夏のイベント。ボランティアが花びらを敷き詰め制作に参加)

2 防災・防犯、環境維持

2-1 まちの清掃・防犯

まちの快適性を高めることを目的として、ゴミ拾い等の清掃活動のほか、防犯講習会を実施するなど就業者等が共同してエリアの清掃・防犯に取り組んでいます。



▲はかた駅前通りの清掃活動
[福岡県福岡市]※3
(博多まちづくり推進協議会のクリーンデイ・緑化活動)



▲名古屋駅前のおもてなし花壇
[愛知県名古屋市]※4
(愛知県が花きの産出額日本一を誇ることをPRする取組の一環として、名古屋駅まちづくり協議会が30か所約145㎡の花壇に愛知県産花きを提供し、花によるおもてなしを実践)

2-2 まちの防災

企業やテナント間の連携を強化することや帰宅困難者を受け入れるための備蓄倉庫を整備するなどにより、地域の防災能力向上を目指しています。合同避難訓練の実施や、行政との連携によって様々な活動が行われています。



▲六本木ヒルズ備蓄倉庫（食糧用）
[東京都港区]※5
(帰宅困難者を受け入れるにあたり食糧等を備蓄)



▲震災訓練 [東京都港区]※5
(六本木ヒルズ自治会と森ビル株式会社による震災訓練)

3 地域ルールづくり・ コミュニティづくり

3-1 地域ルールによる良好な 景観の形成等

まちづくりの方針やガイドライン等に基づいて、統一感のある景観を形成するための取組です。街並み、緑化空間、公開空地等を適切に維持・管理することにより、快適で質の高い景観づくりが行われています。

※ 大阪府は平成27年度補正予算「地方創生加速化交付金」（第3次）を活用し、「日本版BID制度実現に向けた普及活動・支援業務」として右図の枚方宿や高野街道を含む淀川舟運や街道などに着目したフォーラム等を実施。



▲枚方宿での五六市 [大阪府枚方市]※6
(東海道に大阪までの4宿を加え、五十七次とも呼ばれるが、その56番目の宿場町として栄えた枚方宿で、枚方宿地区まちづくり協議会が毎月第2日曜日に開催し、毎月約200店舗が出店)



▲ライトアップされた高野街道の街並み [大阪府河内長野市]※6
(高野街道では、ライトアップのほかにも、川床でホテルを見ながら食事を楽しむ「蛸の宴」や周辺住民の玄関先に杉玉を吊るす「杉玉のある町並み」といった取組を実施)

3-2 まちのコミュニティづくり

多様な関係者による地域特性に応じた魅力ある地域づくりを推進するため、関係者の信頼を醸成しながら、「育てること」を視野に入れた、自主的な地域ルールをつくる活動のほかに、関係者の交流を促進するとともに、地域づくりの担い手を育成する新たなコミュニティを生み出す取組も進められています。

※育てる地域ルールとしては、まちづくりの基本的な枠組みを定める「まちづくりガイドライン」や、地域に既に存在したルールを改めてルール化した「式目」（京都市祇園南側地区）などの例があるとされています。



▲御城川大学 [石川県七尾市] ※7

(市民有志により結成された運営委員会が、七尾をはじめ能登半島全体をキャンパスにしたイベント、ワークショップ、セミナーなどを開催。メインキャンパスは、元北陸銀行であった建物をリノベーションし、その中にまちの外と建物の中を結ぶ象徴的な長机を設置)



4 まちの情報発信

まちに関する情報を広く発信し、知名度向上が図られています。また、来街者・就業者・地域住民等に対して効果的なまち案内ができるようなインフォメーションボードやウェブサイト等の運営に取り組んでいます。



▲デジタルサイネージの活用

[大阪府大阪市] ※8
(梅田エリアに点在するデジタルサイネージ端末を活用し、梅田地区エリアマネジメント実践連絡会がエリアイベント等の情報を発信。(写真は、会員企業による多言語デジタルサイネージ [Umeda i])



▲丸の内ウォークガイド

[東京都千代田区] ※9
(大丸有の魅力歩いて体感することを目的に、週3日の3コース(大手町、丸の内、有楽町)を大丸有エリアマネジメント協会が実施)

5 公共施設・公共空間の整備・管理

(エリアマネジメント広告・オープンカフェ等)

道路、広場等の公共施設や公共空間、私有地において、屋外広告物を企業に販売することや、オープンカフェやイベント等利潤が上がる事業を実施し、得られた広告収入等をエリアマネジメントの財源に充てる活動です。デザイン性の高いフラッグを掲出すること等により、結果的にまちの賑わいづくりにも役立っています。



▲那珂川オープンカフェ [福岡県福岡市] ※1
(天神地区の憩いと賑わい空間を創出するため、We Love天神協議会が那珂川の河川敷である水上公園でオープンカフェを展開。売上の3%をまちづくり活動の支援金としてテナントからWe Love天神協議会に拠出)



▲エリアマネジメント広告

[愛知県名古屋] ※4
(街路灯パナール、工事用仮囲い広告をエリアマネジメント広告として活用)

6 民間施設の公的利活用

(空き家・空き地等)

平成5年以降の20年間で、空き家は1.8倍※、空き地は1.2倍※※に増加しています。使われていない空き屋・空き地を地域の手で再利用し、まちの拠点として再生するなどの活動が行われています。

※平成5年 448万戸→平成25年 820万戸
出典：総務省「住宅・土地統計調査」

※※平成5年 1,279km²→平成25年 1,554km²
出典：国土交通省「土地基本調査」



▲蔵カフェ&コミュニティスペース

[愛知県豊田市] ※10
(豊田まちづくり(株)により、商店街の中で長年空き家となっていた築100年の蔵と古民家を子育て世代のコミュニティ施設MAMATOCO(ママトコ)として再生)



▲桜城址公園

[愛知県豊田市] ※10
(MAMATOCO(ママトコ)と隣接する公園であり、毎月第3土曜日に行われるStreet & Park Marketの会場として活用)

(写真提供) ※1 We Love 天神協議会 ※2 札幌駅前通まちづくり株式会社 ※3 博多まちづくり協議会 ※4 名古屋駅地区まちづくり協議会 ※5 森ビル株式会社 ※6 大阪府 ※7 森記念財団 ※8 梅田地区エリアマネジメント実践連絡会 ※9 大丸有エリアマネジメント協会 ※10 豊田まちづくり株式会社

出典：「地域創生まちづくり一エリアマネジメント一」平成29年(内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局 内閣府地方創生推進事務局)

STEP2

その実現のためにはどんな取組をしたらよいか？

【コンセプト1】 暮らしやすい魅力的な住宅都市

1) どこよりも暮らしやすいまち

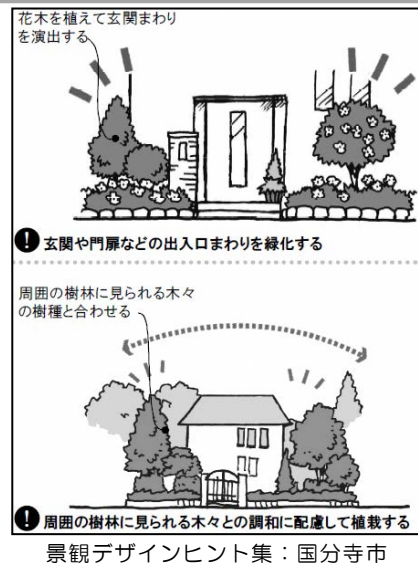
「どこよりも暮らしやすいまち」を実現するためには、どんな取組が必要だと思いますか？

- ① 庭の木々や生垣などの緑と調和した美しい戸建住宅地が広がっている。落ち着いた色彩・デザイン等の建物による、魅力的な住宅地景観が形成されている。

【西恋ヶ窪二・三丁目，日吉町エリア】

<取組の例>

- 地区計画制度，建築協定，ガイドライン等による，生垣等の緑化推進，建築物等の外壁・屋根の色彩・形態等のルール化



- ② 中密度の土地利用も可能とすることで，敷地内にオープンスペースが確保され，多様な植栽が配置されたアメニティ空間が創出されている。

【西恋ヶ窪二丁目北側エリア】

<取組の例>

- 用途地域の変更による戸建住宅以外の土地利用の誘導
- 地区計画制度等による高さの制限や空地・緑地の確保

- ③ 自宅から歩いていける距離に，日用品の買い物ができる店舗や飲食店があり，買い物や外食を楽しんでいる。

【北口駅前エリア，都市計画道路沿道エリア】

<取組の例>

- 用途地域の変更等による利便施設等の誘導

- ④ 駅前付近には、個性的な店舗が建っている。人中心の広場と相まって、居心地の良い空間を形成し、他にない個性的な駅前空間となっている。

【北口駅前エリア】

<取組の例>

- 駅前広場の整備
- 用途地域等の変更
- 地区計画制度、景観ガイドライン等による駅前空間及び建築物等の景観形成の規制誘導
- 地元店舗の立地誘導、地域商業活性化、チャレンジショップ等の取組
- エリアマネジメントによる広場を活用したイベント開催

- ⑤ 子どもと安心して散歩ができ、保育園や診療所など、子育て支援施設が充実しており、共働き世帯も安心して子育てができる。

【全域】

<取組の例>

- 住宅地内道路の自動車流入抑制
- 子育て支援施設、医療・福祉施設等の立地誘導

- ⑥ サイクルシェア、カーシェアなどの取組により、過度に自動車に依存しない、便利で環境負荷の低い移動手段がある。

【全域】

<取組の例>

- 先進企業、大学、研究機関等との連携によるITを活用した交通体系づくり

- ⑦ 消火栓などの消防水利が十分に設置されるとともに、スタンドパイプ消火器具等により、共助の力で初期消火に対応できる。

【全域】

<取組の例>

- スタンドパイプ式消火器具の配備

- ⑧ 消防車や救急車が支障なく進入できる。

【全域】

<取組の例>

- 道路の改善（隅切り確保、狭隘道路の拡幅等）

⑨ 夜間でも安心して歩けるような、防犯的にも優れた環境が整っている。

【全域】

<取組の例>

- 街路灯の充実，門灯・センサーライト等の点灯

⑩ 社会構造やニーズの変化に対応しながら，都市機能の整備・更新が行われることで，この地区にずっと住み続けることができる。

【全域】

<取組の例>

- 大量供給・大量消費ではない，まちの成長や時代のニーズに合わせた持続型の市街地整備

2) 多様な世代がそれぞれの時間を楽しみながら住み続けられるまち

「多様な世代がそれぞれの時間を楽しみながら住み続けられるまち」を実現するためには、どんな取組が必要だと思いますか？

- ① 子育て支援や医療福祉など、それぞれのライフステージに必要な機能を持つ施設が備わっている。

【全域】

<取組の例>

- 子育て支援施設・医療福祉施設の立地誘導

- ② 戸建住宅や集合住宅、賃貸住宅、シェアハウスなど、ライフスタイルに合わせて多様な住み方ができる。菜園やアトリエ、ジョギングなどの趣味や余暇を楽しむ、ゆとりある生活をしている。

【全域】

<取組の例>

- 一部用途地域の変更、地区計画制度等による多様な居住形態が調和した市街地形成の誘導
- 市民農園制度の活用、空き家・空き地の活用
- 歩行者専用道路（さんぼ道、ジョギングロード等）の整備

- ③ 安全な歩行環境が整い、高齢者が散歩を楽しみ、子どもたちが屋外で遊んでいる。

【全域】

<取組の例>

- フリンジパーキング※、カーシェアリング等による通過交通の排除、住宅地内道路の自動車流入抑制
- 既存公共施設のバリアフリー化、ユニバーサルデザインによる施設整備

※フリンジパーキング：都心部周辺の駐車場に駐車し、そこから徒歩や公共交通機関等で都心部までアクセスするシステム。都心部への自動車交通の過度の流入を抑制するものである。

- ④ 趣味などの活動を通じて、多様な世代が交流し、良好なコミュニティが形成されている。

【全域】

<取組の例>

- エリアマネジメントの活動を通じた地域住民の交流
- 地域住民による公共空間の花壇等の植栽・管理
- 交流の場の創出

⑤ 駅前の歩行者広場で、地域のお祭りが催され、交流が広がっている。

【北口駅前エリア】

<取組の例>

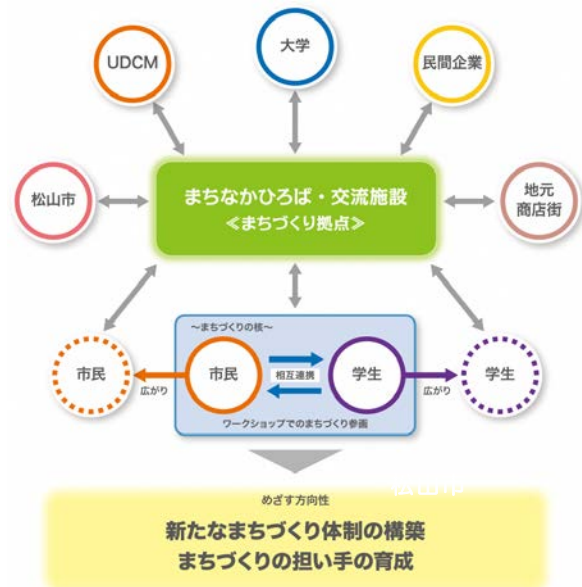
- 歩行者広場の整備
- エリアマネジメントによる広場を活用したイベント開催

⑥ 以前は空き地だった場所が、子どもの遊び場やイベント等に使われる広場になり、地域の交流の場になっている。

【全域】

<取組の例>

- 空き家・空き地の活用
- 市民協働による広場づくりワークショップ



空き地をリニューアルしたまちなか広場社会実験の仕組み（松山市）

3) 緑と農と調和したまち

「緑と農と調和したまち」を実現するためには、どんな取組が必要だと思いますか？

- ① 農地がまちなかの緑として街並みに彩りを与えている。

【西恋ヶ窪二・三丁目、日吉町エリア、西恋ヶ窪二丁目北側エリア】

<取組の例>

- 生産緑地制度による農地の維持
- 植木畑のオープンガーデン化



植木畑（生産緑地）のオープンガーデン化
（川口市安行）

- ② 「こくベジプロジェクト」等の地産地消の取組が広がり、顔の見える生産者による「採れたて野菜」が食べられる暮らしに誇りを感じている。

【全域】

<取組の例>

- 地産地消の浸透（学校や関係団体等と連携した「食育」等）

- ③ 駅前広場などで地場産野菜の市（マルシェ）が開催され、にぎわっている。農地に設置された直売所とともに、住民と生産者との交流の場にもなっている。

【北口駅前エリア、西恋ヶ窪二丁目北側エリア、西恋ヶ窪二・三丁目、日吉町エリア】

<取組の例>

- 駅前広場を活用したイベント開催
- エリアマネジメントの活動を通じた生産者、住民の連携
- 「農」をめぐる散歩ルートの設定、「農」のまち歩きイベントの開催等

- ④ シェア畑や芋ほり体験、花摘み、子どもの泥遊び等の体験プログラム、農家レストランなどの新たな農地経営の手法が育って地域に根付き、農地が地域の資産として維持・活用されている。

【西恋ヶ窪二・三丁目、日吉町エリア、西恋ヶ窪二丁目北側エリア】

<取組の例>

- 市民農園、直売所、農家レストラン等による生産緑地の活用
- 生産者と地域住民が連携し、農地を活用したエリアマネジメント

1) 歩行者優先の動線

「歩行者優先の動線」を実現するためには、どんな取組が必要だと思いますか？

- ① 緑豊かな公園や緑陰の歩行者道路を歩いていくと、駅にたどり着く。

【全域】

<取組の例>

- 緑のモール（歩行者動線となる公園）の整備



すみれ野中央公園(鴻巣市)

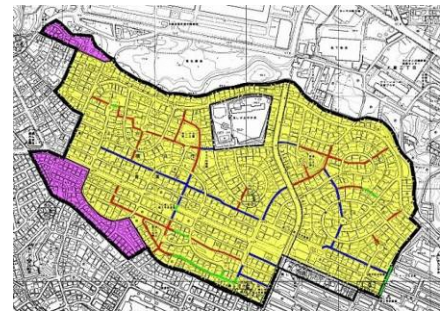
- ② 歩行者と自動車の動線は完全に分離されており、歩行者が最短距離で目的地に着ける。

【全域】

<取組の例>

- 歩行者専用道、フットパス等の整備

地区施設	
歩行者専用道(幅員 4m)	—
(幅員 5m)	—
遊歩道	—



青葉美しが丘中部地区(横浜市)

- ③ すべてがユニバーサルデザインになっており、高齢者や車いすも快適に通行できる。

【全域】

<取組の例>

- ユニバーサルデザインに配慮した道路の設計及び整備

- ④ 地場野菜の販売所や公園などをつなぐ散歩道があり、犬の散歩やジョギングが楽しめる。

【全域】

<取組の例>

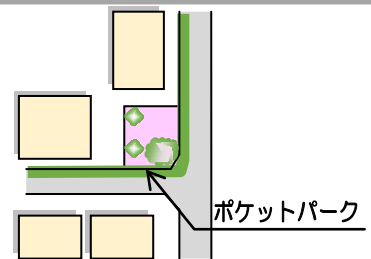
- 歩行者専用道、フットパス等の整備
- 散歩ルートの設定、ガイドマップの作成

⑤ 歩道のところどころにポケットパークがあり、散歩の途中で一休みできる。

【全域】

<取組の例>

- ポケットパークの整備（地区計画，借地方式による）
- 空き地，空き家の活用



2) コミュニティのための道路

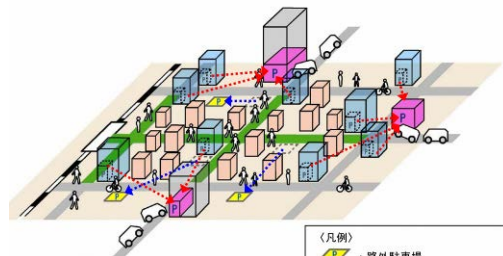
「コミュニティのための道路」を実現するためには、どんな取組が必要だと思いますか？

- ① 市街地の外周道路に集約された駐車場があり、
地区内には一切車が入ってこない。

【全域】

<取組の例>

- フリンジパーキング、カーシェアリング



（凡例）
 : 路外駐車場
 : 集約駐車施設
 : 路外駐車場の配置適正化
 : 附置義務駐車施設の集約化

外周道路に集約された駐車場が配置されるイメージ
 （駐車場の配置適正化に関する手引き：国土交通省 HP）

- ② 容易に通り返りできない工夫がされており、
地区内の生活道路に通過車両が入ってこない。

【北口駅前エリア以外】

<取組の例>

- 一定のゾーンにおける不要な自動車の流入抑制・速度抑制
- ゾーン交通規制（ゾーン 30*）



ゾーン交通規制イメージ（警視庁 HP）

*ゾーン 30：区域（ゾーン）を定めて時速 30 キロの速度規制を実施するとともに、その他の安全対策を必要に応じて組み合わせ、ゾーン内におけるクルマの走行速度や通り抜けを抑制する取組。

- ③ 地区内の生活交通も速度を抑える仕組みになっており、歩車共存の生活道路になっている。

【北口駅前エリア以外】

<取組の例>

- 速度抑制対策（イメージハンプ、狭さく、シケインなど）



イメージハンプの例（つくば市）



交差点狭さくの例（名古屋市緑区）



シケインの例（綾瀬市）

- ④ 路地が子どもの遊び場や地域のイベント・お祭りの場になっている。

【北口駅前エリア以外】

<取組の例>

- 通過交通の排除，速度規制の徹底，通行規制，生活道路のあり方の検討

3) ぶらりと立ち寄りたくなるような居心地の良いスペースのある人中心の駅前広場

「ぶらりと立ち寄りたくなるような居心地の良いスペースのある人中心の駅前広場」を実現するためには、どんな取組が必要だと思いますか？

① 駅前に見晴らしの良い、皆が集まれる広場や公園がある。

【北口駅前エリア】

<取組の例>

- 駅前整備に合わせた広場・公園空間の創出

② その広場では、子どもが遊んだり、地域のお祭りや地場産野菜の市（マルシェ）、オープンカフェなどが行われている。

【北口駅前エリア】

<取組の例>

- 広場を活用したエリアマネジメント



公園を活用したエリアマネジメントの例（南池袋公園：豊島区）

③ その広場の周りには、居心地の良さそうな個性的な店舗が建っており、駅からの帰り道に、つい立ち寄りたくなってしまふ。

【北口駅前エリア】

<取組の例>

- 地元店舗の立地誘導，地域商業活性化，チャレンジショップ等の取組

④ その広場は、駅を出て最も近いところにあり、ユニバーサルデザインで誰でも入っていくことができる。その広場を通り抜けるとロータリー（交通広場）があり、駅からロータリーまでは段差がなく、円滑に移動できる。

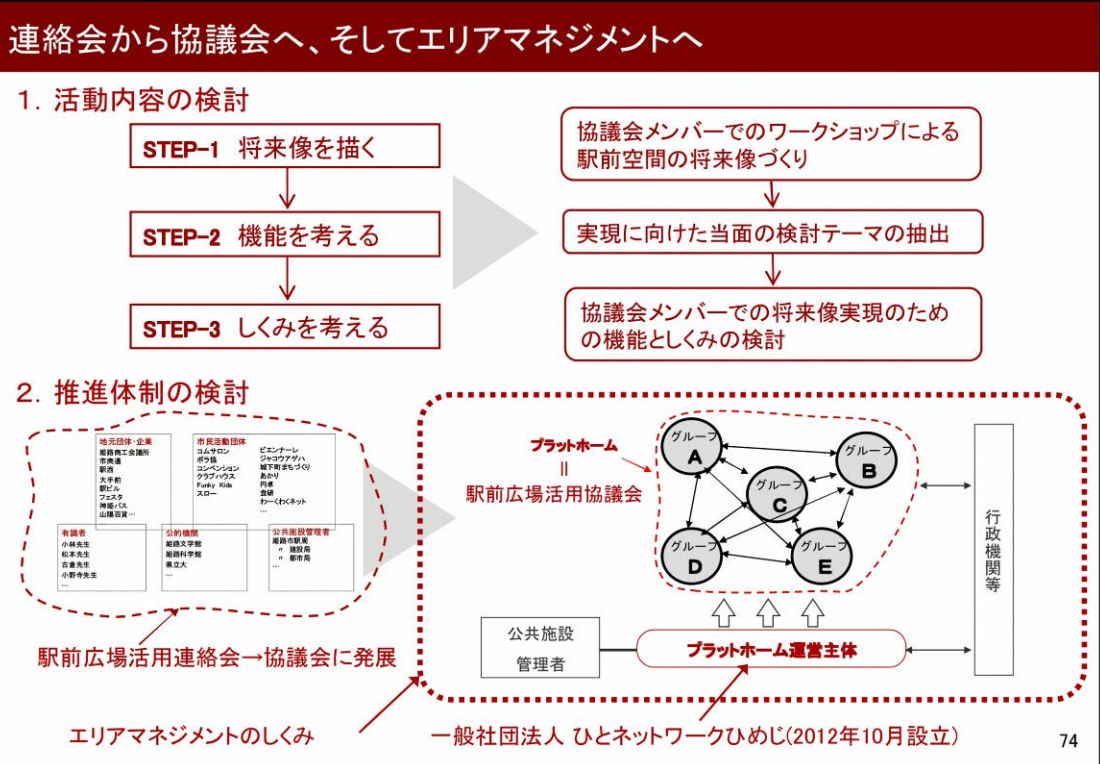
【北口駅前エリア】

<取組の例>

- ユニバーサルデザインに配慮した整備

<取組の例>

- ▶ 多様な視点を踏まえたデザイン検討（市民協働によるデザインワークショップ等）



姫路駅前広場市民参加の体制(姫路駅前広場に関する講演会資料より)